

歴史探訪

クラブ! 其の149

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

田戸神社の気になるもの

小中山町にある歴史遺産は、戦争遺跡の陸軍技術研究所伊良湖試験場が有名です。この試験場の入り口と並んで、田戸神社があります。六所神社とともに、10月に「かあか祭り」が行われる神社です。また、「いぼ」取り祈願の由緒ある神社でもあります。

この神社の参道には、木製の鳥居がなんと80mも続いています。この鳥居には、奉納年月日や奉納者の名前が墨書きされています。木製の鳥居が立ち並ぶ参道の空間は、これか



▲酒井孫兵衛の狛犬

も良いものです。台座には昭和4年6月の奉納者の名前と、狛犬を彫った石工の名前「酒井孫兵衛」が記されています。酒

井孫兵衛は、江戸時代から、岡崎に8代続いた狛犬製作の石工で、年号から7代目の作品と思われます。

酒井孫兵衛作の狛犬は、市内には畠神社にもあります。こちらは正徳8年9月の銘があり、先代の孫兵衛の作品と思われます。6代目の孫兵衛は、これまでのふくらとしたかわいら

しい狛犬から、たてがみのある、雄雄しく筋骨隆々の狛犬の作風を築いています。

田戸神社で気になるもうひとつは参道入り口付近の灯籠です。セメントで作られ、表面を石洗い出してお作りしています。以前にも紹介したとおり、明治終わりから昭和初期には、セメントこそ最新・最強の素材とされていましたので、当時としてはしゃれた灯籠だったのでしょう。

どちらも同じ昭和4年のもの。かたや伝統的な花崗岩で作られた近代的な作風の作品、かたや最新の素材で作られた伝統的な造形。この対比が面白いですね。

(増山)

この神社で気になるものがふたつ。ひとつは花崗岩製の狛犬です。神社の拝殿前に、阿吽の呼吸の語源となった「口を開いたもの」「閉じたもの」が一对となつて置かれています。ここの狛犬は、顔も胴体の彫り



▲セメント製の灯籠

今月の「表紙」

▼暑さをしのぐ方法はいくつありますか？避暑地を求めてお出かけしてみるのは健康の一つです。森の中の木陰はとて涼しく感じます。木々の合間から差し込む木漏れ日にも涼しさがあり、なぜかぬくもりを感じます。まだまだ暑い日が続きそうな今年の夏。外出の際は、こまめに水分補給をし、熱中症などにはくれぐれも注意しましょう。(I)

【表紙の写真】赤羽根文化の森